

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
名古屋ビューティーアート専門学校		平成元4年3月29日		古淵 泰弘		〒 451-0042 (住所) 愛知県名古屋市区那古野2-12-10 (電話) 052-533-3363		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人 三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151		
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科		平成16(2004)年度	-	平成28(2016)年度		
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技術を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	メイクやネイルに関する資格を取得し、化粧品メーカー、メイクスタジオ、ネイルサロン等に就職する。中には中退者も目標喪失、学業不振、人間関係等の理由で出ることもあるが、個人面談を実施し、個々の悩みを早期に発見し、解決をしている。							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間 62 単位	単位時間 104 単位	単位時間 114 単位	単位時間 14 単位	単位時間 0 単位	単位時間 13 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率			
320 人	265 人	0 人		0 %	0 %			
就職等の状況	■卒業者数(C)		125 人					
	■就職希望者数(D)		96 人					
	■就職者数(E)		96 人					
	■地元就職者数(F)		27 人					
	■就職率(E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		28 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		77 %					
	■進学者数		22 人					
	■その他							
	(令和 5 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)							
■主な就職先、業界等		(令和5年度卒業生) コーセー化粧品販売会社・株式会社 マリークワント コスメテックス・バルファン・クリスチャン・ディオール・ジャパン株式会社・株式会社ファンケル 等						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載			無				
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-beauty/couse/total/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数		0 単位時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間					
	うち必修授業時数		0 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間					
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数		62 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		13 単位						
うち企業等と連携した演習の単位数		0 単位						
うち必修単位数		9 単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		0 単位						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		0 単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		0 単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		5 人			
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		5 人			
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人			
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		6 人			
	計				16 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				11 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
小林 美智子	TBCグループ株式会社 人事総務部採用課	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
河島 健	一般社団法人 一生美容に恋する会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
金子 成理奈	株式会社 創寫館 美容部門マネージャー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
高橋 麻美	株式会社 創寫館	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
内藤 嘉仁	有限会社アーティザン 代表取締役	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
植野 いずみ	名古屋ビューティーアート専門学校 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
田中 久美子	名古屋ビューティーアート専門学校 主任	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
河邊 隆明	名古屋ビューティーアート専門学校 主任	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
深津 里奈	名古屋ビューティーアート専門学校 主任	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
二木 由香理	名古屋ビューティーアート専門学校 メイクチーフ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
山田 磨佑	名古屋ビューティーアート専門学校 エステチーフ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
岩田 悠加	名古屋ビューティーアート専門学校 ネイルチーフ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
星原 幸恵	名古屋ビューティーアート専門学校 教務事務	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者

- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (1月、7月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年1月28日 10:00～11:30

第2回 令和6年7月24日 13:00～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
①外部クライアントへの施術授業について
⇒外部モデルを集客して、模擬サロンを生徒が運営することに注力する。集客が問題であるが、学校による集客を継続的に実施することで、頻度の高い模擬サロン実習を実施し即戦力を養う。他学校行事等からの流入者にLINE登録していただき、参加募集を行う。
②就職活動支援について
⇒生徒がSNSなどで見つけてきたサロンが、これまで当校生徒の採用実績がない場合は不安要素もある。施設実習先からの就職率調査を行い、就職意識と連動させミスマッチを減少させる。また有給インターンシップや施設実習制度を利用し、企業の現場を知った上で、就職するよう働きかける。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
実習において学内で学んだ専門的な知識をアウトプットし、実践力を養うと共に、現場・社会に触れることで、美容業界で求められる適切な行動・態度、そして責任感を学び、感じ、醸成する。実習先の選定に関しては、実習生の希望をヒアリングしながら美容分野において2週間、実際にサロンワークを中心とした業務を経験できるよう依頼。実習終了後には企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。
(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
学習意欲を高めることと、必要とされる知識技術を提供してもらっている。その後、校内で専門的なグループ・個別レッスンの講習等を開催し、現場力を身に付ける。
終了時には、連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、実習担当者による生徒の学習成果の評価も踏まえ、成績評価(5段階評価)・単位認定を行う。
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
サロンワークⅡ-F	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	実際のサロンでお客様対応や施術を学び、お客様をお迎えし実践を行い、自身の技術向上を目指す。	株式会社 J's PINKY
サロンワークⅠ-F	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	実際のサロンでお客様対応や施術を学び、お客様をお迎えし実践を行い、自身の技術向上を目指す。	株式会社 J's PINKY

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にを行っていること。」関係
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。
・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修
(2)研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等
研修名： プロフェッショナルセミナー メイクアーティスト
期間： 令和6年5月10日（金）
内容 現役施術者 富沢ノボル様をお呼びし、最先端デモンストレーションを実施
連携企業等： Make up artist 富沢ノボル
対象： 教職員15人
研修名： プロフェッショナルセミナー 美容師
期間： 令和6年5月10日（金）
内容 J's平田様により美容師になるための心得 講話
連携企業等： J's
対象： 教職員5人
②指導力の修得・向上のための研修等
研修名： 夢は自生するが、志は自生しない
期間： 令和6年4月2日（火）
内容 現代の若者の考え方について講話
連携企業等： 喜多川 泰事務所
対象： 教員81名

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等：富田ユンジョン

対象：教職員28名

連携企業等：MaxBlonde

対象：教職員28名

文部科学省 教育部	文部科学省 教育部
---	---

連携企業等：曾山和彦

対象：教職員105名

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

[illegible]

※(10)及び(11)については任意記載。

[illegible]

②社会貢献や地域貢献の対応

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/nagoya-beauty.pdf>

公表時期: 2024年7月13日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/nagoya-beauty.pdf>

公表時期: 2024年5月20日

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			サロンマナーⅠ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1 年前期	30	2	○			○		○		
2	○			カラーコーディネートⅠ	ファッションコーディネートで即戦力となるように色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。パーソナルカラーコーディネート資格を取得する。	1 年前期	30	2	○			○		○		
3	○			未来デザインプログラムⅠ	ビジネス書「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1 年前期	15	1	○			○		○		
4			○	デッサン・イラストレーション	物の形をよく観察する力と洞察力を養うことでより深く芸術を理解する。またデッサン力から応用することによりコミュニケーション能力を高めることを目指す。	1 年前期	30	2	○			○		○		
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1 年前期	30	2	○			○		○		
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。 ・骨格系、筋肉系、神経系	1 年前期	30	2	○			○		○		
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養系の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1 年前期	15	1	○			○		○		
8			○	香粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1 年前期	15	1	○			○		○		
9			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1 年前期	15	1	○			○		○		
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技の意味を理解する。	1 年前期	60	2		○		○		○		
11			○	ベーシックネイルⅠ	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイル基礎を学ぶ。	1 年前期	60	2		○		○		○		
12			○	ベーシックメイクⅠ	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、スキンケア～メイクアップテクニックをマスターしフルメイク基礎技術を身に付ける。	1 年前期	60	2		○		○		○		
13			○	就職対策Ⅰ	就職の心構えや目的、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを学ぶ。	1 年前期	15	1	○			○		○		

14	○		カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付け、パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指す。	1 年後 期	30	2	○			○	○		
15	○		未来デザインプログラムⅡ	社会人としてあるべき人格を高め自身および他者へのリーダーシップを醸成する。	1 年後 期	15	1	○			○	○		
16		○	就職対策Ⅱ	就職の心構えや目的、企業のエントリー方法や実践的な面接を学ぶ。そして内定後までの流れを把握し、円滑な就職活動準備を行う。	1 年後 期	15	1	○			○	○		
17	○		サロンマナーⅡ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1 年後 期	15	1	○			○	○		
18		○	SNS・WEB・フォトスキル	顧客の共感や集客につながるメッセージや写真をTwitter、Instagram、LINEなどのSNSやWEBを通じて発信の仕方を学ぶ。	1 年後 期	15	1		○		○			
19		○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1 年後 期	30	2	○			○	○		
20		○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。 ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系・生殖系	1 年後 期	30	2	○			○	○		
21		○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1 年後 期	15	1	○			○	○		
22		○	香粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・フェイシャル、ボディ化粧品 ・化粧品に用いられる薬剤とその働き	1 年後 期	15	1	○			○	○		
23		○	ベーシックネイルⅡ	ベーシックネイルⅠに続き、JNECネイリスト技能検定2級課題であるネイルチップ(付け爪)の技術の基礎から応用までを学ぶ。	1 年後 期	30	1		○		○	○		
24		○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態にあったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1 年後 期	30	1		○		○	○		
25		○	ビューティーカウンセリング	メイク業界で仕事をしていくための基礎知識、各化粧品メーカーの分析、肌知識からのカウンセリングテクニック、接客技術を学ぶ。	1 年後 期	30	2	○			○	○		
26		○	検定メイクⅠ	資格取得のためのメイク基礎知識技術を身に付け、カウンセリングメイク応用技術を習得する。	1 年後 期	45	3	○			○	○		
27		○	ヘアアレンジⅠ	頭部、骨格の名称、ブッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	1 年後 期	60	2		○		○	○		
28		○	パーソナルメイク	顔の分析、カラー診断、イメージに合わせて演習する。	1 年後 期	45	1		○		○	○		
29		○	ベーシックメイクⅡ	ベーシックメイクⅠで学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1 年後 期	30	1		○		○	○		

30			○	エステティックカ ウンセリングⅠ	一人一人の心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、 悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1 年 後 期	15	1	○				○		○		
31			○	エステティック概 論・衛生学・関係 法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識 を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1 年 後 期	15	1	○				○		○		
32			○	プロフェイシャル Ⅰ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事 項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる 知識、技術を身に付ける。	1 年 後 期	60	2		○			○		○		
33			○	プロボディⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事 項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる 知識、技術を身に付ける。	1 年 後 期	60	2		○			○		○		
34			○	アロマセラピー Ⅰ-G	アロマセラピーの基礎知識を学ぶ。 ・精油の基礎知識 ・プロフィール ・利用法・歴史・環境	1 年 後 期	15	1	○				○		○		
35			○	アロマセラピー Ⅰ	アロマセラピーの基礎知識を学ぶ。 ・精油の基礎知識 ・プロフィール ・利用法・歴史・環境	1 年 後 期	30	2	○				○		○		
36			○	スカルプチュア	JNECネイリスト技能検定1級の課題の一つとなっている、アクリル樹 脂のパウダーとリキッドを使用した付け爪で短い爪の長さを出す技 術を学ぶ。	1 年 後 期	45	1		○			○		○		
37			○	ネイルケア&ネ イルアートⅠ-F	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術 向上を目指す。	1 年 後 期	45	2		○			○		○		
38			○	検定対策Ⅰ	JNECネイリスト技能検定2～3級とJNAジェルネイル技能検定初級の 取得を目指し、技術強化を図る。	1 年 後 期	45	3	○				○		○		
39			○	ジェルネイルⅠ	JNAジェルネイル技能検定初級の取得を含め、ジェルネイルについ ての技能・知識を学ぶ。	1 年 後 期	45	1		○			○		○		
40			○	コンテストⅠ	ネイルのコンテストの出場を目指し、技術強化を図る。	1 年 後 期	15	1	○				○		○		
41			○	フェイシャル& ボディⅠ	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体 の状態に合ったトリートメントを理解する。	1 年 後 期	45	1		○			○		○		
42			○	ネイルアートⅠ	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイ ルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習 得する。	1 年 後 期	30	1		○			○		○		
43			○	ネイル演習	JNEC3級の取得をして、更に上級のJNEC2級検定へ向けて付け爪 などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する。	1 年 後 期	30	1		○			○		○		
44			○	パーソナルヘア &メイクⅠ	メイクの基礎技術をテーマに合わせたメイクテクニックを学び実践に 生かす。	1 年 後 期	30	1		○			○		○		
45			○	検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイ ク検定合格を目指す。	1 年 後 期	30	2	○				○		○		

46			○	スマホフォト技術	実際にInstagramのアカウントを作成し、投稿するための撮影技術やレイアウト、コラージュの仕方を学び投稿する。	1 年後期	15	1		○		○		○				
47			○	自己プロデュース	客観的な分析力と表現力を身に付ける。 ・プロデュースとは何かを理解する ・自分自身のセールスポイントを理解し、人に伝えられるようになる	1 年後期	15	1		○		○		○				
48			○	パーソナルスタイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得する。	1 年後期	15	1	○			○		○				
49			○	ビューティーフード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する。	1 年後期	15	1	○			○		○				
50			○	サロンワークⅠ-F	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応し、実践を通して技術を習得する。	1 年後期	45	1			○	○		○	○	○		
51		○		サロンワークⅡ-F	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブル回避を自身で考え対応し、実践を通して技術を習得する。	2 年前期	45	1			○	○		○	○	○		
52		○		サロンワークⅢ-F	サロンを通してチームワークを学びサロンで必要とされる人材を理解し習得する。	2 年後期	45	1			○	○		○	○	○		
53			○	施設実習	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割を深め、接客の基本姿勢を学ぶ。	2 年	80	2			○		○		○			
54			○	就職対策Ⅲ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを学ぶ。	2 年前期	15	1	○			○		○				
55			○	就職対策Ⅳ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを学ぶ。	2 年後期	15	1	○			○		○				
56			○	着付けⅠ-A	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2 年前期	30	1		○		○				○		
57			○	着付けⅠ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2 年前期	30	1		○		○				○		
58			○	着付けⅡ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2 年後期	30	1		○		○				○		
59			○	ヘアアレンジⅡ	頭部・骨格の名称、ブッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2 年前期	45	1		○		○		○				
60			○	ヘアアレンジⅢ	頭部・骨格の名称、ブッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2 年後期	45	1		○		○		○				
61			○	ビューティーカウンセラーメイクⅠ	幅広いメイクアップの技術と肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2 年前期	60	4	○			○		○				

62			○	ビューティーカウンセラーメイクⅠ メイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2 年 後 期	60	4	○				○		○		
63			○	ブライダルメイクⅠ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学び現場を意識して実践する。 ・洋装和装メイク・お色直し	2 年 前 期	45	2		○			○		○		
64			○	ブライダルメイクⅡ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学び現場を意識して実践する。 ・洋装和装メイク・お色直し	2 年 後 期	45	2		○			○		○		
65			○	特殊メイクⅠ	エアブラシからボディジュエリー、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2 年 前 期	45	2		○			○		○		
66			○	特殊メイクⅡ	エアブラシからボディジュエリー、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2 年 後 期	45	2		○			○		○		
67			○	アーティストメイクⅠ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2 年 前 期	45	2		○			○		○		
68			○	アーティストメイクⅡ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2 年 後 期	45	2		○			○		○		
69			○	フォト&ファッションⅠ	フォト⇒写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっては注意点を理解し、実践力を身につける。 ファッション⇒ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。	2 年 前 期	15	1	○				○		○		
70			○	フォト&ファッションⅡ	フォト⇒写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっては注意点を理解し、実践力を身につける。 ファッション⇒ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。	2 年 後 期	15	1	○				○		○		
71			○	サロンワークⅠ-D	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。	2 年 前 期	60	2					○	○		○	○
72			○	サロンワークⅡ-D	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。	2 年 後 期	60	2					○	○		○	○
73			○	サロンワークⅠ-E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2 年 前 期	60	2					○	○		○	○
74			○	サロンワークⅡ-E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2 年 後 期	60	2					○	○		○	○
75			○	エステティックカウンセラーⅡ	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準と、技術力確認試験合格基準を目指す。	2 年 前 期	30	2	○				○		○		
76			○	エステティックカウンセラーⅢ	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準と、技術力確認試験合格基準を目指す。	2 年 後 期	30	2	○				○		○		
77			○	サロントリートメントⅠ	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学 ・フットケア ・リンパドレナージュ ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー ・ストーンセラピー	2 年 前 期	45	2		○			○		○		

78			○	サロントリートメントⅡ	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学 ・フットケア ・リンパドレナージュ ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー ・ストーンセラピー	2 年 後 期	45	2		○		○		○				
79			○	エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合について学ぶ。 ・皮膚学・生理理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 年 前 期	60	4	○			○		○				
80			○	エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合について学ぶ。 ・皮膚学・生理理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 年 後 期	60	4	○			○		○				
81			○	フェイシャルマニキュレーションⅠ	ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2 年 前 期	45	2		○		○		○				
82			○	フェイシャルマニキュレーションⅡ	ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2 年 後 期	45	2		○		○		○				
83			○	フェイシャルスキンケアⅠ	ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深め、電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。	2 年 前 期	45	1		○		○		○				
84			○	フェイシャルスキンケアⅡ	ajeste上級認定エステティシャン合格基準を目指す。	2 年 後 期	60	2		○		○		○				
85			○	ボディベーシックⅠ	ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2 年 前 期	45	2		○		○		○				
86			○	ボディベーシックⅡ	ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2 年 後 期	45	2		○		○		○				
87			○	ボディテクニカルⅠ	応用トリートメント(資格試験対応) ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2 年 前 期	45	1		○		○		○				
88			○	ボディテクニカルⅡ	応用トリートメント(資格試験対応) ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2 年 後 期	60	2		○		○		○				
89			○	プロボディⅡ	ボディテクニック総合(資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション ・エステティック機器 ・ハンドテクニック ・接客マナー	2 年 前 期	60	2		○		○		○				
90			○	プロボディⅢ	ボディテクニック総合(資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション ・エステティック機器 ・ハンドテクニック ・接客マナー	2 年 後 期	60	2		○		○		○				
91			○	プロフェイシャルⅡ-B	ボディテクニック総合(資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション ・エステティック機器 ・ハンドテクニック ・接客マナー	2 年 前 期	90	4		○		○		○				
92			○	プロフェイシャルⅢ-B	フェイシャルテクニック総合(資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー	2 年 後 期	90	4		○		○		○				
93			○	プロフェイシャルⅡ-C	フェイシャルテクニック総合(資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術習得をする。 ・コンサルテーション ・エステティック機器 ・ハンドテクニック ・接客マナー	2 年 前 期	60	2		○		○		○				

94			○	プロフェイシャルⅢ-C	・フェイシャルテクニック総合(資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術習得をする。 ・コンサルテーション ・エステティック機器 ・ハンドテクニック ・接客マナー	2 年 後 期	60	2		○		○		○				
95			○	エステティック総論Ⅰ-B	エステティック知識総合について学ぶ。 ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学	2 年 前 期	30	2	○			○		○				
96			○	エステティック総論Ⅱ-B	エステティック知識総合について学ぶ。 ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学	2 年 後 期	30	2	○			○		○				
97			○	エステティック総論Ⅰ-C	アロマセラピーⅠで学んだ知識を総復習する。 選択科目の理論を学ぶ ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー	2 年 前 期	15	1	○			○		○				
98			○	エステティック総論Ⅱ-C	アロマセラピーⅠで学んだ知識を総復習する。 選択科目の理論を学ぶ ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー	2 年 後 期	15	1	○			○		○				
99			○	アロマセラピー総論Ⅰ	エステティック知識総合について学ぶ。 ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2 年 前 期	30	2	○			○		○				
100			○	アロマセラピー総論Ⅱ	エステティック知識総合について学ぶ。 ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2 年 後 期	30	2	○			○		○				
101			○	スパセラピーⅠ	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2 年 前 期	60	3		○		○		○				
102			○	スパセラピーⅡ	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2 年 後 期	60	3		○		○		○				
103			○	検定対策Ⅱ	JNECネイリスト技能検定2級～1級とJNAジェルネイル技能検定中級～上級の取得を目指し技術強化を図る。	2 年 前 期	60	4	○			○		○				
104			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践を行う。	2 年 後 期	60	4	○			○		○				
105			○	検定対策&スカルプチュアⅠ	JNECネイリスト技能検定2～1級取得を目指し技術強化を図る。	2 年 前 期	60	4	○			○		○				
106			○	検定対策&スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得を目指す。	2 年 後 期	60	4	○			○		○				
107			○	ジェルネイルⅡ	JNAジェルネイル技能検定中級から上級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ。	2 年 前 期	60	2		○		○		○				
108			○	ジェルネイルⅢ	JNAジェルネイル技能検定中級から上級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ。	2 年 後 期	60	2		○		○		○				
109			○	コンテストⅡ	ネイルのコンテストの出場を目指し、技術強化を図る。	2 年 前 期	30	1		○		○		○				

110			○	コンテストⅢ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化を図る。	2 年 後 期	30	1		○		○		○			
111			○	ネイルケアⅡ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケア（ハンド・フットの両方）の技術向上を目指す。	2 年 前 期	45	2		○		○		○			
112			○	ネイルケアⅢ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケア（ハンド・フットの両方）の技術向上を目指す。	2 年 後 期	45	2		○		○		○			
113			○	ネイルアートⅡ	フラットアート・3Dアートやエアブラシなど基礎的なアートから高度なアート技術までの全てを学ぶ。	2 年 前 期	45	2		○		○		○			
114			○	ネイルアートⅢ	フラットアート・3Dアートやエアブラシなど基礎的なアートから高度なアート技術までの全てを学ぶ。	2 年 後 期	45	2		○		○		○			
115		○		サロンワークⅠ-G	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2 年 前 期	30	1			○	○		○	○	○	
116		○		サロンワークⅡ-G	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2 年 後 期	30	1			○	○		○	○	○	
117			○	エステティックカウンセリングⅡ-G	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、適格に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身に付ける。	2 年 前 期	15	1	○			○		○			
118			○	エステティックカウンセリングⅢ-G	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、適格に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身に付ける。	2 年 後 期	15	1	○			○		○			
119			○	アロマセラピーⅡ-G	アロマセラピー検定対策に取り組み、アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用をする。	2 年 前 期	15	1	○			○		○			
120			○	アロマセラピーⅢ-G	アロマセラピー検定対策に取り組み、アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用をする。	2 年 後 期	15	1	○			○		○			
121			○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2 年 前 期	60	3		○		○		○			
122			○	フェイシャル&ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2 年 後 期	60	3		○		○		○			
123			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-G	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2 年 前 期	30	1		○		○		○			
124			○	ネイルケア&ネイルアートⅡ-G	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2 年 後 期	30	1		○		○		○			
125			○	検定対策&ジェルⅠ	JNECネイリスト技能検定2級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指す技術強化していく。	2 年 前 期	30	2	○			○		○			

126			○	検定対策 & ジェルⅡ	JNECネイリスト技能検定2級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく。	2 年 後 期	30	2	○			○		○				
127			○	パーソナルヘア &メイクⅡ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	2 年 前 期	30	1		○		○		○				
128			○	パーソナルヘア &メイクⅢ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	2 年 後 期	30	1		○		○		○				
129			○	トータルメイクⅠ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2 年 前 期	30	1		○		○		○				
130			○	トータルメイクⅡ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2 年 後 期	30	1		○		○		○				
131			○	ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2 年 前 期	30	1		○		○		○				
132			○	ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進を行う。	2 年 後 期	30	1		○		○		○				
133			○	デトックスⅠ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を学ぶ。	2 年 前 期	15	1	○			○		○				
134			○	デトックスⅡ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を学ぶ。	2 年 後 期	15	1	○			○		○				
135			○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2 年 前 期	30	1		○		○		○				
136			○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2 年 後 期	30	1		○		○		○				
137			○	インターンシップⅠ-I	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	1 年	45	1			○		○					
138			○	インターンシップⅠ-II	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	1 年	45	1			○		○					
139			○	インターンシップⅠ-Ⅲ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	1 年	45	1			○		○					
140			○	インターンシップⅠ-Ⅳ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	1 年	45	1			○		○					
141			○	インターンシップⅡ-I	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○		○					

142			○	インターンシップ Ⅱ - Ⅱ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○	○				
143			○	インターンシップ Ⅱ - Ⅲ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○	○				
144			○	インターンシップ Ⅱ - Ⅳ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○	○				
145			○	インターンシップ Ⅲ - Ⅰ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○	○				
146			○	インターンシップ Ⅲ - Ⅱ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○	○				
147			○	インターンシップ Ⅲ - Ⅲ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○	○				
148			○	インターンシップ Ⅲ - Ⅳ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。 ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2 年	45	1			○	○				
合計							148	科目	245 単位(単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。	1学年の学期区分	2期
履修方法:	授業科目の成績評価は別に定め、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、該当科目の認定をしない。また、科目一部に該当科目を必修科目としている。	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。